

## 埴輪棺が出土しました！（城西遺跡第9次調査）

令和3年9月30日（木）～10月7日（水）までの間、城西遺跡の第9次発掘調査を行いました。



調査区全景



発掘調査の様子

城西遺跡は、深谷市原郷に所在し、過去の調査では古墳時代の古墳跡などが確認されています。

今回の調査では、古墳跡が1基、土坑3基が発見されました。古墳は古墳時代後期（約1500年前）に属すると見られます。また、土坑1基から、円筒埴輪が数個体組み合わせられた状態で出土しました。これは、円筒埴輪を転用して作られた小型の棺と考えられます。その大きさから幼児の埋葬などに使用された可能性があります。また、使用された埴輪の内側には、ヘラ記号\*が刻まれており注目されます。

※ヘラ記号・・・ヘラなどの棒状の器具で刻まれた記号。作成した工人や地域によって様々な記号が使い分けられたとされています。



埴輪棺出土状況



埴輪棺に刻まれた記号

